

遠藤周作日記全文掲載のお知らせ

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、遠藤家の方々、遠藤周作文学館の皆様のご協力のもと、これまで一部しか公開されていなかった長崎市遠藤周作文学館所蔵の遠藤周作元本誌編集長の日記（「Réflexion a l'hopital(1962-）」と題されています）を、全文翻刻いたしました。

遠藤直筆のノートの写真とともに一九六一年～一九七四年一〇月二四日の日記全文を『三田文學』一四七号（二〇二一年一〇月一二日発売）に掲載いたします。

本日より事前予約を開始いたします。ぜひご高覧いただけましたら幸いです。

また、周作クラブと共催で、二〇二一年一〇月二日にイベント「没後 25 年周作忌」を開催いたします。フジテレビ社長・遠藤周作長男／遠藤龍之介氏、作家・三田文學元編集長／加藤宗哉氏にご登壇いただきます。他にも、遠藤周作文学館の学芸員／川崎友理子氏による文学館からの中継や、元新潮社出版部 遠藤周作担当／宮辺尚氏による「遠藤周作と樹座」をテーマとしたお話などもございますので、ぜひご参加ください。

※会場でのご参加は人数が上限に達しましたので、オンラインのお申込みのみ受け付けさせていただきます。

なお、遠藤周作文学館では、二〇二一年九月二九日（水）～二〇二三年三月二四日（金）まで、没後二五周年記念企画展として「遠藤周作 母をめぐる旅——『沈黙』から『侍』へ」が開催されます。昨年、弊誌夏季号（一四二号）で掲載いたしました「影に対して」の草稿二枚と秘書による清書原稿一〇四枚や、日記、書簡、自筆原稿の推敲跡などが展示されます。

以上、何卒ご周知のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

二〇二一年九月一七日